

社会福祉学科 社会福祉専攻 2年 後期 専門科目

1. 社会福祉の原理と政策Ⅱ
2. ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ
3. 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ
4. 福祉サービスの組織と経営
5. 社会保障Ⅱ
6. 刑事司法と福祉
7. ソーシャルワーク演習Ⅳ
8. ソーシャルワーク研究Ⅱ
9. 医療秘書実務・医療管理学
10. 臨床美術の実践Ⅱ
11. 臨床心理学
12. 心理学研究Ⅱ

社会福祉学科			社会福祉 専攻		
科目名: 社会福祉の原理と政策Ⅱ			担当教員 氏名: 中村 尚紀		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次 後期	専門科目	講義	必修	社会福祉士受験資格(必須)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 社会福祉士、精神保健福祉士等の資格を有した教員が、相談等の実務経験を生かして授業を行う					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
①福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。 ②福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。 ③福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。 ④福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。					社会福祉 歴史 制度
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 2. 6. 9. 10		
A 知識・理解力		社会福祉の理念と必要性について理解することができる			
C 論理的思考力		社会政策や社会福祉の供給体制について理解することができる			
D 問題解決力		理論を活用して実践に結びつける力を身につける			
F チームワーク・リーダーシップ		先人による福祉実践から彼らのリーダーシップや福祉観を考察する			
G 倫理観		政策決定(プロセス含)における倫理観の必要性に気づく			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト:	%	レポート:	70 %	発表:	20 %
				実技試験:	%
				その他:	10 %
特記事項:その他とは授業への姿勢、態度のことである					
アクティブラーニング授業: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:講義の第7回に中間レポート・第15回後に期末レポートを提出					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:レポート返却時のコメントとA,B,C,D,Eの評価でフィードバックを行う。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①福祉政策の構成要素			【事前】第6章第1節を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
②福祉政策の過程と評価			【事前】第6章第2節を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
③福祉政策と包括的支援の現状			【事前】第7章第1節を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
④福祉政策と包括的支援の課題			【事前】第7章第2節を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑤保健医療政策			【事前】第8章第1節を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑥教育政策			【事前】第8章第2節を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑦住宅政策			【事前】第8章第3節を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑧労働政策			【事前】第8章第4節を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑨災害政策			【事前】第8章第5節を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑩福祉供給部門			【事前】第9章第1節を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑪福祉供給過程			【事前】第9章第2節を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑫福祉利用過程			【事前】第9章第3節を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑬福祉政策の動向(欧米)			【事前】第10章第1節を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑭福祉政策の動向(東アジア)			【事前】第10章第2節を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑮まとめ			【事前】第6~10章を読む 【事後】全体の講義の内容を振り返りレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
使用テキスト:最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座4社会福祉の原理と政策、中央法規、ISBN:978-4-8058-8234-4			その他参考文献など: 適時紹介する。「厚生労働白書」厚生労働省		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):					

社会福祉学科			社会福祉 専攻		
科目名: ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ			担当教員 氏名: 中村 尚紀		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次 後期	専門科目	講義	選択	社会福祉士受験資格(必須)
実務経験を用いてどのよう社会福祉士・精神保健福祉士としての実務経験を活かして、福祉現場の実状にそった事例などを用いて支援方うな授業を行っているか: 法を学ぶ授業を行っている。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
①支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための、知識と技術について理解する。②社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発やソーシャルアクションについて理解する。③個別の事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見出すための、事例分析の意義や方法を理解する。					ジェネラリストソーシャルワーク、社会資源、アウトリーチ、多様性、マイノリティ 災害ソーシャルワーク
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力	1年次に学んだ相談援助の理論と方法の理解をさらに深める。				
B 専門的技術	実践場面で活かせる相談援助の専門的技術を身につける。				
C 論理的思考力	対象を全体的・包括的に捉え、整理・分析しニーズを理解できる。				
D 問題解決力	相談場면을複眼的にとらえ、社会的資源を活用できる。				
G 倫理観	相談場面に必要な倫理を理解する。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: 70 %	発表: 20 %	実技試験: %	その他: 10 %	
特記事項: その他として、授業に対する参加度や態度、毎回の感想(出席カード)を含む。アクティブラーニングの一環としてグループワークや発表を行う。					
アクティブラーニング授業: 課題解決型学習 (ディスカッション)、ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 第7回で中間レポート、第15回後に期末レポートを提出。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートはコメントとA、B、C、D、E評価をつけて返却する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実践			【事前】第1章を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分	
②ジェネラリストソーシャルワーク			【事前】第1章第5節を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分	
③多様化、複雑化した生活課題への対応、分野、領域を横断する支援			【事前】第1章を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分	
④事例分析			【事前】第6章を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分	
⑤家族支援の実践(家族が抱える複合的な生活課題、家族支援の目的、方法、留意点)			【事前】第1章を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分	
⑥事例分析			【事前】第6章を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分	
⑦地域支援の実践(地域が抱える課題、多機関協働、地域住民との協働、地域アセスメント)			【事前】第1章を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分	
⑧事例分析			【事前】第6章を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分	
⑨事例分析			【事前】第6章を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分	
⑩非常時や災害時支援の実践(災害ソーシャルワーク)			【事前】第1章を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分	
⑪事例分析			【事前】第6章を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分	
⑫事例分析			【事前】第6章を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分	
⑬多様性の尊重(マイノリティへの支援)			【事前】第1章を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分	
⑭事例分析			【事前】第6章を読む 【事後】講義内容をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分	
⑮発表			【事前】第1章・第6章を振り返る 【事後】発表等の内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
使用テキスト: 最新 社会福祉養成講座6ソーシャルワークの理論と方法(社会専門)、中央法規、ISBN: 978-4-8058-8249-8			その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 教科書はソーシャルワークの理論と方法Ⅲと同じものを使用します。前期の講義で学んだことを実践的に学ぶため事例分析を行います。予習と復習を行い理解を深めるよう頑張りましょう。					

社会福祉学科			社会福祉 専攻			
科目名: 地域福祉と包括支援体制Ⅱ			担当教員 氏名: 山本 純子			
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	2年次 後期	専門科目	講義	選択	社会福祉士受験資格(必修)	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 精神保健福祉士等の資格を有した教員が、相談等の実務経験を生かして授業を行う						
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード		
地域福祉論Ⅰに引き続き、地域福祉の展開の仕方を各方法論を用いながら、最近の地域福祉の動向と結びつけ課題解決の方法を学ぶ。				コミュニティソーシャルワーク、地域福祉の推進、アウトリーチ、ソーシャルアクション		
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6. 7. 8. 9		
A 知識・理解力	地域福祉に関する知識を体系的に理解することができる。					
B 専門的技術	地域福祉を実践できる能力を習得する。					
C 論理的思考力	社会問題を地域福祉の概念を根底にし、複眼的理論的に分析し、支援に活かせる。					
D 問題解決力	地域課題を解決するために必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。					
H コミュニケーション力	地域課題を多角的に分析するため、協働しながら問題を解決するコミュニケーション力を養う					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート: 80 %	発表: 10 %	実技試験:	%	その他: 10 %
特記事項: 「その他」においては、授業中の態度などで評価する。 本科目ではアクティブ・ラーニングの一環としてグループワークとプレゼンテーションを行う。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: レポートは毎回提示、中間レポートは第7回目、期末はレポート別に定めた日時に実施。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートと中間レポートと期末レポートはABCD評価で採点し返却する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容		学習に必要な時間(分)	
①地域福祉の推進方法Ⅰ			【予習】Ⅴの地域福祉の推進方法の1~4を読む 【復習】Ⅴの地域福祉の推進方法の1~4をまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
②地域福祉の推進方法Ⅱ			【予習】Ⅴの地域福祉の推進方法の5~9を読む 【復習】Ⅴの地域福祉の推進方法の5~9をまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
③地域福祉を推進する人Ⅰ			【予習】Ⅵの地域福祉の推進主体①の1~4を読む 【復習】Ⅵの地域福祉の推進主体①の1~4をまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
④地域福祉を推進する人Ⅱ			【予習】Ⅵの地域福祉の推進主体①の5~7を読む 【復習】Ⅵの地域福祉の推進主体①の5~7をまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑤地域福祉を推進する組織Ⅰ			【予習】Ⅶの地域福祉の推進主体②の1~4を読む 【復習】Ⅶの地域福祉の推進主体②の1~4をまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑥地域福祉を推進する組織Ⅱ			【予習】Ⅶの地域福祉の推進主体②の5~7を読む 【復習】Ⅶの地域福祉の推進主体②の5~7をまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑦子供と地域福祉Ⅰ			【予習】Ⅷの子どもと地域福祉の1~3を読む 【復習】Ⅷの子どもと地域福祉の1~3をまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑧子供と地域福祉Ⅱ			【予習】Ⅷの子どもと地域福祉4~5を読む 【復習】Ⅷの子どもと地域福祉の4~5をまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑨災害と地域福祉Ⅰ			【予習】Ⅷの災害と地域福祉の1~3を読む 【復習】Ⅷの災害と地域福祉の1~3をまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑩災害と地域福祉Ⅱ ※演習			【予習】Ⅷの災害と地域福祉の4を読む 【復習】Ⅷの災害と地域福祉の4をまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑪地域福祉計画Ⅰ			【予習】Ⅸの地域福祉計画とその実際の1~2を読む 【復習】Ⅸの地域福祉計画とその実際の1~2をまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑫地域福祉計画Ⅱ			【予習】Ⅸの地域福祉計画とその実際の3~4を読む 【復習】Ⅸの地域福祉計画とその実際の3~4をまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑬地域福祉計画Ⅲ			【予習】Ⅸの地域福祉計画とその実際の5~7を読む 【復習】Ⅸの地域福祉計画とその実際の5~7をまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑭地域福祉と評価Ⅰ			【予習】Ⅹの地域福祉と評価手法の1~2を読む 【復習】Ⅹの地域福祉と評価手法の1~2をまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑮地域福祉と評価Ⅱ			【予習】Ⅹの地域福祉と評価手法の3~4を読む 【復習】Ⅹの地域福祉と評価手法の3~4をまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
使用テキスト: 新版よくわかる地域福祉(ミネルヴァ書房) ISBN978-4-623-08592-7			その他参考文献など:			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 地域福祉の基礎からの地域福祉の展開や方法を学んでいきます。地域福祉の理解を促進するため予習と復習を行ってください。						

社会福祉学科			社会福祉 専攻		2年	
科目名: 福祉サービスの組織と経営				担当教員 氏名: 宮嶋 潔		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	2年次 後期	専門科目	講義	必修	社会福祉士受験資格(必修)	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 社会福祉協議会での10年間の勤務経験から、施設運営管理の実際や運営管理におけるリーダーシップの具体的展開を学ぶ。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
①ソーシャルワークにおいて必要となる、福祉サービスを提供する組織や団体の概要について理解する。 ②社会福祉士に求められる福祉サービスの組織と沿革、経営の視点と方法を理解する。 ③福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論、労働者の権利等について理解する。 ④福祉サービスに求められる福祉人材マネジメントについて理解する。					福祉サービス、運営管理、リーダーシップ	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動 目 標		1. 2. 6. 8. 9. 10	
A 知識・理解力		福祉サービスを行なう組織や団体について理解する。				
B 専門的技術		組織や経営理論を学ぶ。				
E 自己管理能力		運営管理の重要性と方法について理解する。				
F チームワーク・リーダーシップ		リーダーシップの基礎理論について理解する。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %	レポート: 20 %	発表: %	実技試験: %	その他: 30 %		
特記事項: 社会福祉士施設の組織マネジメントにかかるグループディスカッション及びロールプレイを実施する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート (グループワーク) プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:15回目終了後。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:試験後に解説を行う。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容		学習に必要な時間(分)	
①福祉サービスにおける組織・経営			【予習】テキスト内容の確認 【復習】組織論・経営論のまとめ	【予習】120分 【復習】120分		
②福祉サービスと制度			【予習】社会福祉制度の確認 【復習】福祉サービスと経営の整理	【予習】120分 【復習】120分		
③福祉サービスにかかわる組織や団体			【予習】テキスト内容の確認 【復習】各種法人の概念整理	【予習】120分 【復習】120分		
④福祉サービスにかかわる組織や団体 社会福祉法人			【予習】テキスト内容の確認 【復習】社会福祉法人の概念整理	【予習】120分 【復習】120分		
⑤福祉サービスにかかわる組織や団体 特定非営利活動団体等			【予習】テキスト内容の確認 【復習】NPO法人の概念整理	【予習】120分 【復習】120分		
⑥福祉サービスの組織と経営の基礎理論			【予習】テキスト内容の確認 【復習】経営に関する基礎概念整理	【予習】120分 【復習】120分		
⑦福祉サービスの組織と経営の基礎理論 事業計画 組織 管理運営の基礎理論他			【予習】テキスト内容の確認 【復習】事業計画の作成理論整理	【予習】120分 【復習】120分		
⑧福祉サービスの組織と経営の基礎理論 集団力学 リーダーシップによる基礎理論			【予習】テキスト内容の確認 【復習】組織論の具体的課題整理	【予習】120分 【復習】120分		
⑨福祉サービスの管理運営の方法(1) サービス管理			【予習】テキスト内容の確認 【復習】サービス管理の基礎整理	【予習】120分 【復習】120分		
⑩福祉サービスの管理運営の方法(2) サービスマネジメント			【予習】テキスト内容の確認 【復習】福祉マネジメントの整理	【予習】120分 【復習】120分		
⑪福祉サービスの管理運営の方法(3) 苦情対応とリスクマネジメント			【予習】テキスト内容の確認 【復習】リスクマネジメントの整理	【予習】120分 【復習】120分		
⑫福祉サービスの管理運営の方法(4) 人事管理と労務管理			【予習】テキスト内容の確認 【復習】人事・労務管理の基礎整理	【予習】120分 【復習】120分		
⑬福祉サービスの管理運営の方法(5) 会計管理と財務管理			【予習】テキスト内容の確認 【復習】福祉会計・財務の管理整理	【予習】120分 【復習】120分		
⑭福祉サービスの管理運営の方法(6) 情報管理			【予習】テキスト内容の確認 【復習】福祉情報のあり方整理	【予習】120分 【復習】120分		
⑮ふりかえり			【予習】福祉サービスの最新動向 【復習】福祉経営戦略のまとめ	【予習】120分 【復習】120分		
使用テキスト: 最新社会福祉士養成講座1「福祉サービスの組織と経営」中央法規 ISBN978-4-8058-8244-3				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 「社会福祉学」のみならず、「経営学」の学びを意識していただきたい。						

社会福祉学科			社会福祉 専攻		
科目名: 社会保障Ⅱ			担当教員 氏名: 中村 尚紀		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次 後期	専門科目	講義	選択	社会福祉士受験資格(必須)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 現場の具体的なケースを紹介している。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。 ・社会保障制度の体系と概要について理解する。 ・諸外国における社会保障制度の概要について理解する。 					社会保障の理念・歴史・概念、 所得保障制度、医療保障制度、 介護保険制度、労働保険制度
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 7. 8. 9.	
A 知識・理解力	社会保障に関する知識を体系的に理解することができる。				
B 専門的技術	社会保障の各種制度を応用し、支援に活かせる能力を習得する。				
C 論理的思考力	社会問題について複眼的理論的に分析し、支援に活かせる。				
D 問題解決力	社会保障を巡る問題を解決するために必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。				
G 倫理観	常にソーシャルワークの価値と倫理を元にして、実践活動を展開できる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト:	%	レポート: 70 %	発表: 10 %	実技試験: %	その他: 20 %
特記事項: その他20%は授業の受講態度による。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:7コマ目には中間レポート、15コマ目に期末レポートを実施。その他は授業態度等を含む評価を行う。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜コメントと採点を行い返却する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①社会保障制度の体系(医療保険制度の概要Ⅰ)			【予習】第5章1節を読む 【復習】ふりかえりレポートの提出	【予習】120分 【復習】120分	
②社会保障制度の体系(医療保険制度の概要Ⅱ)			【予習】第5章1節を読む 【復習】ふりかえりレポートの提出	【予習】120分 【復習】120分	
③社会保障制度の体系(介護保険制度の概要Ⅰ)			【予習】第5章2節を読む 【復習】ふりかえりレポートの提出	【予習】120分 【復習】120分	
④社会保障制度の体系(介護保険制度の概要Ⅱ)			【予習】第5章2節を読む 【復習】ふりかえりレポートの提出	【予習】120分 【復習】120分	
⑤社会保障制度の体系(年金制度の概要Ⅰ)			【予習】第5章3節を読む 【復習】ふりかえりレポートの提出	【予習】120分 【復習】120分	
⑥社会保障制度の体系(年金制度の概要Ⅱ)			【予習】第5章3節を読む 【復習】ふりかえりレポートの提出	【予習】120分 【復習】120分	
⑦社会保障制度の体系(労災保険制度と雇用保険制度の概要)			【予習】第5章4節を読む 【復習】ふりかえりレポートの提出	【予習】120分 【復習】120分	
⑧社会保障制度の体系(生活保護制度の概要Ⅰ)			【予習】第5章5節を読む 【復習】ふりかえりレポートの提出	【予習】120分 【復習】120分	
⑨社会保障制度の体系(生活保護制度の概要Ⅱ)			【予習】第5章5節を読む 【復習】ふりかえりレポートの提出	【予習】120分 【復習】120分	
⑩社会保障制度の体系(社会手当制度の概要)			【予習】第5章6節を読む 【復習】ふりかえりレポートの提出	【予習】120分 【復習】120分	
⑪社会保障制度の体系(社会福祉制度の概要)			【予習】第5章7節を読む 【復習】ふりかえりレポートの提出	【予習】120分 【復習】120分	
⑫諸外国における社会保障制度(スウェーデン、ドイツ、イギリス、アメリカ等)			【予習】第6章1節を読む 【復習】ふりかえりレポートの提出	【予習】120分 【復習】120分	
⑬諸外国における社会保障制度(社会保障の国際比較)			【予習】第6章2節を読む 【復習】ふりかえりレポートの提出	【予習】120分 【復習】120分	
⑭諸外国における社会保障制度(社会保障の国際化)			【予習】第6章3節を読む 【復習】ふりかえりレポートの提出	【予習】120分 【復習】120分	
⑮まとめと振り返り			【予習】第5章～第6章を読む 【復習】ふりかえりレポートの提出	【予習】120分 【復習】120分	
使用テキスト:最新社会福祉養成精神保健福祉養成講座7社会保障、中央法規、ISBN:978-4-8058-8237-5			その他参考文献など: 厚生労働白書、福祉六法		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 配布資料とテキストを中心にして、講義を進めます。わからない点、疑問に思った点、いつでも講師に相談をしてください。					

社会福祉学科			社会福祉専攻		
科目名: 刑事司法と福祉			担当教員 氏名: 中村 尚紀		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次 後期	専門科目	講義	選択	社会福祉士受験資格(必須)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: テキストに記載されていない専門的業務の内容を取り上げることや、実務の中で経験した処遇に係る面接技法、対象となる人やその関係者との関わり方などを具体的事例を挙げて講義を進めている。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
①刑事司法の近年の動向と制度の仕組みを理解する。 ②刑事司法における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割について理解する。 ③刑事司法の制度に関わる関係機関等の役割について理解する。					司法 更生 相談援助
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動 目標		1. 2. 3. 5. 6. 7. 8	
A 知識・理解力	更生保護制度の概要を理解する。				
B 専門的技術	保護観察の方法や実施上の諸施策について学ぶ。				
D 問題解決力	制度などを用いた支援について理解する。				
G 倫理観	司法に必要な倫理観を醸成する。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: 80 %	発表: 10 %	実技試験: %	その他: 10 %	
特記事項: その他とは、授業出席状況、授業中の態度などのことである。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: レポートを第7コマ目に中間レポート第15コマ目後に期末レポートを提出する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートはA、B、C、D、Eの評価でフィードバックする。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①刑事司法と福祉			【予習】第1章を読む 【復習】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
②社会と犯罪Ⅰ(犯罪の定義など)			【予習】第2章を読む 【復習】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
③社会と犯罪Ⅱ(犯罪の定義など)			【予習】第2章を読む 【復習】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
④犯罪原因論と対策			【予習】第3章を読む 【復習】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑤刑罰とは何か			【予習】第4章を読む 【復習】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑥刑事司法			【予習】第5章を読む 【復習】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑦少年司法			【予習】第6章を読む 【復習】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑧施設内処遇(成人)			【予習】第7章を読む 【復習】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑨施設内処遇(少年)			【予習】第8章を読む 【復習】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑩社会内処遇Ⅰ(更生保護の理念と概念)			【予習】第9章を読む 【復習】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑪社会内処遇Ⅱ(更生保護の実際)			【予習】第10章を読む 【復習】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑫医療観察制度の概要(審判、処遇の流れ、関係機関、専門職との関係)			【予習】第11章を読む 【復習】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑬司法と福祉の連携の展開(地域生活定着支援センター等)			【予習】第12章と第13章を読む 【復習】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑭犯罪被害者支援(法的地位、DV防止、ストーカー規制法、被害者等通知制度、被害者支援員制度、被害者支援センター、犯罪被害者窓口)			【予習】第14章を読む 【復習】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑮コミュニティと刑事司法			【予習】第15章を読む 【復習】講義内容をレポートでまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
使用テキスト: 最新 社会福祉養成講座・精神保健福祉士養成講座10刑事司法と福祉 中央法規 ISBN: 978-4-8058-8240-5			その他参考文献など: 社会内処遇の社会学 日本更生保護協会発行 伊福部 舜児著		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 上記のテキストにそって授業を進めるので、あらかじめ重要語句等の理解に努め予習をしておくこと。					

社会福祉学科			社会福祉 専攻						
科目名: ソーシャルワーク演習IV			担当教員 氏名: 松尾 祐子						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	後期	専門科目	演習	選択	社会福祉士受験資格(必須)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 社会福祉士・精神保健福祉士としての実務経験を活かして、福祉現場の実状にそった事例などを用いて支援方法を体験的に学ぶ授業を行っている。									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
実習を通じて体験した事例について、事例検討を実際に行い、その意義や方法を具体的に理解する。また、実践力の向上のためのスーパービジョンを体験的に理解する。					事例検討、スーパービジョン				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10				
A 知識・理解力			ソーシャルワークに必要な知識と技術を、理論化し体系立てることができる。						
C 論理的思考力			利用者の抱える問題を、複眼的論理的に分析できる。						
D 問題解決力			適切な支援方法を用いて解決策を考えることができる。						
G 倫理観			ソーシャルワーカーの価値規範を理解し論理的判断能力を養う。						
H コミュニケーション力			ソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力を養う。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	40 %	発表:	40 %	実技試験:	%	その他:	20 %
特記事項: 演習への参加姿勢(ロールプレイを含む)、レポートなどで総合的に評価する。原則的に100%の出席を求める。その他とは授業態度・姿勢のことである。アクティブ・ラーニングの一環として、グループディスカッション・ディベートを行う。アクティブ・ラーニングの一環としてグループワークや発表を行う。									
アクティブ・ラーニング要素:									
課題解決型学習 (ディスカッション)、ディベート (グループワーク) (プレゼンテーション) 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業の中で適時案内する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートはコメントと評価をつけて返却する。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①オリエンテーション				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分 【復習】120分				
②事例検討(高齢分野)				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分 【復習】120分				
③事例検討(高齢分野)				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分 【復習】120分				
④事例検討(障害分野)				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分 【復習】120分				
⑤事例検討(障害分野)				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分 【復習】120分				
⑥事例検討(児童分野)				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分 【復習】120分				
⑦事例検討(児童分野)				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分 【復習】120分				
⑧事例検討(社会福祉協議会)				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分 【復習】120分				
⑨事例検討(社会福祉協議会)				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分 【復習】120分				
⑩事例検討(病院)				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分 【復習】120分				
⑪事例検討(病院)				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分 【復習】120分				
⑫スーパービジョン				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分 【復習】120分				
⑬スーパービジョン				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分 【復習】120分				
⑭スーパービジョン				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分 【復習】120分				
⑮まとめ、ソーシャルワーカーの役割				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分 【復習】120分				
使用テキスト: 福祉小六法 978-4-8058-3925-6 現代社会福祉用語の基礎知識 978-4-7620-2174-9				その他参考文献など: 日本医療社会福祉協会「相談支援のための福祉・医療制度活用ハンドブック」中央法規					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 演習なので、受講生は主体的、積極的に取り組むこと。									

社会福祉学科			社会福祉 専攻		
科目名: ソーシャルワーク研究Ⅱ			担当教員 氏名: 中村 尚紀 松尾 祐子		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次 後期	専門科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのよう社会福祉士、精神保健福祉士、ケアマネージャー等の資格を有した教員が、相談等の実務経験を生かした授業を行っているか: 授業を行う					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマを決め、各研究室の教員の指導のもとに研究活動を行い、これを通じて研究の進め方や問題解決法などを学ぶ 将来、専門職となった際に必要な研究の知識や学会等発表のプレゼン技法等を身につける 					ソーシャルワーク、先行研究、研究計画、研究調査、プレゼン技法、考察
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 7. 9. 10	
A 知識・理解力	福祉研究や文献等に触れることで総合的な知識力を高めることができる				
B 専門的技術	ソーシャルワークにおける視野、視界、視座の範囲を広げることができる				
C 論理的思考力	想起、研究、実践のプロセスを理解することで思考力を身につけることができる				
D 問題解決力	研究を通して問題解決に至る力を身につけることができる				
G 倫理観	研究を通して生命観や倫理観を身につけることができる				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: %	発表: 30 %	実技試験: %	その他: 70 %	
特記事項: その他とは、研究の内容、論文、活動の取り組み姿勢や態度のことである。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 デスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 課題研究論文等の提出と発表を義務づける					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
【オリエンテーション】研究の目的、学習の進め方と姿勢、評価方法等の説明					
テーマ、研究領域の設定(10月) 全体および個別指導					
テーマ決定及び研究計画の作成(10月)					
調査、研究の実施(11~12月)					
中間発表(12月)					
結果分析と考察(1月)					
論文や研究成果の提出(~1月)					
研究発表会(2月)					
使用テキスト:			その他参考文献など: 『論文の書き方マニュアル—ステップ式リサーチ戦略のすすめ』新版(有斐閣アルマ) 花井 等(著)若松 篤(著)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 目的意識をしっかりと持ってすすめてください。					

社会福祉学科			社会福祉 専攻			
科目名： 医療秘書実務・医療管理学			担当教員 氏名： 中村 尚紀			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	後期	専門科目	講義	選択	保健医療ソーシャルワーカー受験資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか： 医療機関の組織や多職の専門性等の理解を深めるため、医療現場の現状を踏まえた授業を行う。						
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード	
医療機関で働くために必要な病院組織と運営、医療法や診療録の管理、患者接遇について学ぶ。					医療の歴史、病院組織と経営、医療法、医療保険、診療録、患者接遇	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (短縮マトリックスで示される番号)		2. 6. 9. 10	
A 知識・理解力			医療現場の基本的な知識を身につける。			
B 専門的技術			患者接遇の技術を習得する。			
D 問題解決力			患者や家族への対応に関する課題を解決する力をつける。			
E 自己管理能力			自らの心身の健康を管理し、自律した行動ができる。			
G 倫理観			医療の現場の倫理を踏まえて行動できる。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 60 %		レポート： 30 %		発表： %		実技試験： %
						その他： 10 %
特記事項：上記「その他」においては、授業中の態度、授業中の課題提出状況等で評価する。 本科目ではアクティブラーニングの一環として、ディスカッション・ディベートを行う。						
アクティブラーニング要素：						
課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容		学習に必要な 時間(分)
①医療秘書の概念、医療機関倫理と医療職員の倫理				【予習】教科書第1章1・2を読む。 【復習】教科書第1章1・2をトレーニングノートにまとめる。		【予習】120分 【復習】120分
②医療職員に求められる要件、医療機関の接遇マナー				【予習】教科書第1章3・4を読む。 【復習】教科書第1章3・4をトレーニングノートにまとめる。		【予習】120分 【復習】120分
③医療保険制度のあらまし				【予習】教科書第2章医療保険制度のあらましを読む。 【復習】教科書第2章医療保険制度のあらましをトレーニングノートにまとめる。		【予習】120分 【復習】120分
④医療機関組織				【予習】教科書第2章第1部1を読む。 【復習】教科書第2章第1部1をトレーニングノートにまとめる。		【予習】120分 【復習】120分
⑤組織の役割と運営				【予習】教科書第2章第1部2を読む。 【復習】教科書第2章第1部2をトレーニングノートにまとめる。		【予習】120分 【復習】120分
⑥医療機関事務管理の専門性と必要な基本知識				【予習】教科書第2章第1部3を読む。 【復習】教科書第2章第1部3をトレーニングノートにまとめる。		【予習】120分 【復習】120分
⑦医療と情報				【予習】教科書第2章第1部4を読む。 【復習】教科書第2章第1部4をトレーニングノートにまとめる。		【予習】120分 【復習】120分
⑧医療法				【予習】教科書第2章第2部1を読む。 【復習】教科書第2章第2部1をトレーニングノートにまとめる。		【予習】120分 【復習】120分
⑨医師・医師法				【予習】教科書第2章第3部1を読む。 【復習】教科書第2章第3部1をトレーニングノートにまとめる。		【予習】120分 【復習】120分
⑩保健師助産師看護師法				【予習】教科書第2章第3部2を読む。 【復習】教科書第2章第3部2をトレーニングノートにまとめる。		【予習】120分 【復習】120分
⑪薬剤師・臨床検査技師・その他				【予習】教科書第2章第3部3を読む。 【復習】教科書第2章第3部3をトレーニングノートにまとめる。		【予習】120分 【復習】120分
⑫医療保険の概要、医療保険の種類				【予習】教科書第2章第4部1・2を読む。 【復習】教科書第2章第4部1・2をトレーニングノートにまとめる。		【予習】120分 【復習】120分
⑬二重指定制度、後期高齢者医療制度、高額療養費支払制度、 公費負担医療制度、労働者災害補償保険制度				【予習】教科書第2章第4部3・4・5・6・7をトレーニングノートにまとめる。		【予習】120分 【復習】120分
⑭介護保険制度の基本構成、医療と介護の連携				【予習】教科書第2章第5部1・2を読む。 【復習】教科書第2章第5部1・2をトレーニングノートにまとめる。		【予習】120分 【復習】120分
⑮まとめ				【予習】教科書第1章～第2章を読全体を復習をする。		【予習】240分
使用テキスト：「メディカルシステム論」「医学一般」医療教育協会				その他参考文献など：		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 医療現場で使用する専門知識や専門用語が多くあるため、予習や復習を行い講義に臨んで下さい。						

社会福祉学科

社会福祉 専攻

科目名: 臨床美術の実践Ⅱ			担当教員 氏名: 北澤 晃、岡野 宏宣			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	後期	専門科目	演習	選択	臨床美術士4級
実務経験を用いてどのよう な授業を行っているか: 臨床美術士養成講座講師の資格を持ち、臨床美術士として福祉施設での臨床美術の実践経験を生かし、造形素材の理解 やアートプログラムの実践力の向上、福祉施設でのアート活動の実施に向けて授業を行っている。						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
臨床美術士として、アートプログラム制作を通して造形的な技術・技法を習得すると共に、 それを用いて主体的にロールプレイングや現場実習などアクティブ・ラーニングすること によって福祉施設などでアート活動を行うための実践力を身に付ける。						・臨床美術 ・右脳の活性化 ・認知症 ・コミュニケーション
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (短マトリックスで示される番号)		2. 3. 5. 6. 7. 8.	
A 知識・理解力			右脳の活性化と認知症について理解することができる。			
B 専門的技術			状況や関係を把握して様々な素材の使用法や表現技法を習得する。			
D 問題解決力			「ひと・こと・もの」に働きかけ、豊かに表現活動の場を設定するために、情報を収集・分析・整理し、目的に応じた活動案が作成できる。			
F チームワーク・リーダーシップ			リーダー・サブリーダーなどの役割を理解しチームに参画することができる。			
H コミュニケーション力			造形を通して具体的に他者を理解しコミュニケーションをすることを通して、他者に共感でき、 相手の立場に立って考える事ができる姿勢を身につける。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 0 %		レポート: 30 %		発表: 30 %		実技試験: 30 %
その他: 10 %						
特記事項: ・事前課題作品は100%の提出とする。欠席した場合、授業内で制作した作品及び講義内容に関する課題を課す。 ・成績評価のレポートは事前課題の提出。発表は授業内での発言。実技試験はロールプレイング、現場実習の理解と実践力。その他は積極性を指す。 ・本科目ではアクティブ・ラーニングの一環として学生が自ら課題意識を持ち、対象者に対して臨床美術セッションを行い、実践力を身に付け、事前の準備を含めた企画、 実施、記録を行います。 毎回の準備物: 脳いきいきボックス、新聞紙(朝刊1日分)、スティック糊、割り箸ペン、クロッキー帳、ウェットティッシュ、鉛筆2Bか4B						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション <u>実習、フィールドワーク</u>						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:						
使用テキスト:『臨床美術士養成講座4級』, 芸術造形研究所 『臨床美術 認知症医療と芸術のコラボレーション』, 芸術造形研究所					その他参考文献など:	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ※本科目は「臨床美術」「臨床美術の実践Ⅰ」の単位取得者のみ受講できます。 本科目は日程が不規則になっています。授業日時をよく確認してください。 ※本科目は事前課題が多い科目です。課題の提出日を常に確認してください。提出日直前に事前学習では対応できませんので、毎回計画的に進めるようにしてください。(事前・事後学習課題の欄には提出日のみ記載してあります) 諸事情により実習の予定を変更せざるを得ない場合があります。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な 時間(分)	
回数						
1	①【岡野】指導案演習「フリー実習振り返り」		11月25日	【予習】: フリー実習(報告書) 様々な技法を試す・様々な紙を試す	420分	
2	②【岡野】臨床美術コミュニケーションⅡ「現場セッションについて」子ども現場セッション		11月25日			
3	③【北澤】アートプログラム実践演習「実習にむけて試作」		12月2日	準備物: 指定されたモチーフ		
4	④【北澤】臨床美術コミュニケーションⅡ「鑑賞会」		12月2日			
5	⑤【岡野】アートプログラム実践演習「ロールプレイング」①		12月9日	【予習】: 課題図書レポート 準備物: 指定されたモチーフ	【予習】240分	

※前ページよりつづき

社会福祉学科

社会福祉 専攻

科目名: 臨床美術の実践Ⅱ			担当教員 氏名: 北澤 晃、岡野 宏宣	
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)	
			学習内容	学習に必要な時間(分)
6	⑥【岡野】アートプログラム実践演習「ロールプレイング」②	12月9日		
7	⑦【北澤・岡野】実習予習指導・実習準備	12月16日		
8	⑧【北澤・岡野】現場実習 準備	12月16日		
9	⑨【北澤・岡野】現場実習	12月23日	【復習】:実習現場記録表	【復習】60分
10	⑩【北澤・岡野】現場実習	12月23日		
11	⑪【北澤・岡野】アートプログラム実践演習「実習の振り返り」	1月6日		
12	⑫【北澤】指導案演習「五感のアナログ画ロールプレイング①」	1月13日	【予習】:コーギャンの模写	180分
13	⑬【北澤】指導案演習「五感のアナログ画ロールプレイング②」	1月13日		
14	⑭【岡野】臨床美術基幹Ⅱ-②「臨床美術プロデュース」	1月20日		
15	⑮【北澤・岡野】「総括」「認定後の活動」	1月20日	臨床美術協会認定申請書 (課題をすべて提出してある学生) 準備物:臨床美術ハンドブック	
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

社会福祉学科			社会福祉 専攻			
科目名: 臨床心理学			担当教員 氏名: 石津 孝治			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	後期	専門科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 臨床心理士としての心理臨床経験に基づき、事例を提示し、事例検討を行うことにより、理解を深める。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
心理的援助についての理論ならびに技法の基礎と心理療法プロセスについて扱う。精神分析やクライアント中心療法、行動療法といった、主要な心理療法各学派の理論と技法について概説した後、事例検討を多く取り入れることによって心理療法プロセスについて学ぶとともに、知識の定着を図りたい。					・心理学的援助 ・事例検討	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		5. 6. 7. 8. 9.	
A 知識・理解力		心理学的援助の理論と技法に関する基礎的概念を理解する				
C 論理的思考力		理論が援助プロセスでどのように生かされるかについてイメージを持てる				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 100 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: %		
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 (ディスカッション)、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定める。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストを採点し返却						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
① 来談者中心療法の理論と技法に関する知識を習得する。			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分		
② 来談者中心療法が重視する、共感、受容の本質について焦点を当て、事例を用いて理解を深める。			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分		
③ 精神分析1(精神分析的な人格論、技法論に関する知識を習得する)			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分		
④ 精神分析2(精神分析の発達論についての知識を習得する。)			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分		
⑤ 事例検討1(PTSDの治療例を素材とし、心的外傷の援助について学ぶ)			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分		
⑥ プレイセラピーの理論と技法について学ぶ。			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分		
⑦ 事例検討2(子どものプレイセラピー実践例を素材とし、子どもの援助に必要な知識、態度について学ぶ)			予習。①～⑥までの内容の理解を確認する。	予習30分		
⑧ 前半のまとめ。心理学的検査法(投影法による人格検査を実体験し、その方法と意義を学ぶ)			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分		
⑨ 事例検討3(うつ病の治療例を素材とし、うつ病者に対する援助方法について学ぶ)			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分		
⑩ 事例検討4(子どものプレイセラピーと箱庭を併用した実践例について学ぶ)			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分		
⑪ コラーージュ療法体験			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分		
⑫ 事例検討5(被虐待児とその母親に対する心理治療例を素材とし、被虐待児と母親の援助について学ぶ)			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分		
⑬ 事例検討6(行動化を伴ったうつ症状を呈する心理治療例を素材とし、行動化の意味と対応について学ぶ)			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分		
⑭ 児童養護施設児童の心理的援助について学ぶ			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分		
⑮ 全体のまとめ。心理的援助の本質について			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分		
使用テキスト:			その他参考文献など:			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):						

社会福祉学科			社会福祉 専攻						
科目名: 心理学研究Ⅱ			担当教員 氏名: 竹ノ山 圭二郎						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	後期	専門科目	演習	選択				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
自らの問題意識に基づいて、人間の行動や心理に関する研究仮説を立て、研究計画を立案し、研究を実践し、結果を報告書にまとめプレゼンテーションを行います。この実践を通して、生涯にわたって主体的に学び続ける「私」をつくります。					行動・心理、研究仮説、実験・調査、考察、論文作成、プレゼンテーション・パブリケーション				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 6. 7. 9. 10				
A 知識・理解力			心理学研究の基礎知識を身に付けている。						
B 専門的技術			人に関わる問題について、心理学的に研究する技術を習得している。						
C 論理的思考力			人間の行動や心理について科学的、客観的に理解できる。						
D 問題解決力			人間の行動や心理に関する問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。						
H コミュニケーション力			自ら学び、考え、得た情報を的確にまとめ、解りやすく人に説明できる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	30 %	実技試験:	%	その他:	20 %
特記事項: 研究への取り組み態度(20%)、得られた成果の論文報告(50%)、研究発表(30%)に基づいて成績評価を行う。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: レポートは第15回に行う。また研究発表については別途行う。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 研究の進行度に応じて、適宜フィードバックする。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
①心理学研究の進め方、注意事項等についてのガイダンス。					特に指定しないが、研究なので、自らテーマ設定をし、資料収集し、データ収集し、考察し、論文を作成する	240			
②研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察						240			
③研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察						240			
④研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察						240			
⑤研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察						240			
⑥研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察						240			
⑦研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察						240			
⑧研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察						240			
⑨研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察						240			
⑩研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察						240			
⑪研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察						240			
⑫研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察						240			
⑬研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察						240			
⑭研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察						240			
⑮論文の作成および提出、研究発表の準備						240			
使用テキスト: テキストは不要。必要な資料等は、自ら収集してください。					その他参考文献など: 「心理学研究」、「社会心理学研究」、「Journal of Personality and Social Psychology」等の学術雑誌				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): これまでに学んできた心理・福祉の知識と技術を総動員して、自ら問題を発見し、研究するアクティブラーニングで学びます。時間割日程に加えて完全個別指導で研究を進めていきます。安心して履修してください。									